

湯浅半月 ゆあし はなづき 詩人、聖書學者。安政五年二月十六日上野國生れ、

昭和十八年二月四日歿（二六六一—九四三）。本名吉郎、幼名吉之助。筆名

ゆあしの吉郎、半月庵主人、吉郎、湯浅の吉郎。明治十八年同志社卒。

同年本邦初の個人詩集『十一の石塚』出版。アメリカ留學後母校教授、

圖書館長、牧師など。

著譯書『半月集』（本名、明治二十五年八月—二十五年大阪・金屋文淵

堂書店）、『箴言講義』（同、明治四十年九月十日 基督教世界社、警醒社書店）、

『書書履物話』（大正八年二月十五日、松堂書店）、『明治大正詩選』

（公著、詩話會編、大正十四年二月十三日新潮社）、『初期十』詩人

集』（公著、昭和五年五月五日新潮社『現代詩人全集』）、『親鸞聖

人繪詞傳』（第五版、昭和六年八月五日高桑與市刊）、『蕙信庵八公繪

詞傳』（昭和九年四月十五日高桑代理部）、『箴言』（譯、昭和十一

年十一月十五日アルパ社書店）、『傳道之書・雅歌』（止文註釋）（譯、

昭和十一年四月十五日アルパ社書店）、『詩篇』（止文註釋）（譯、昭

和十一年十月十五日アルパ社書店）、『第一イザヤ』（譯、昭和十四

年七月一日教文館）等。